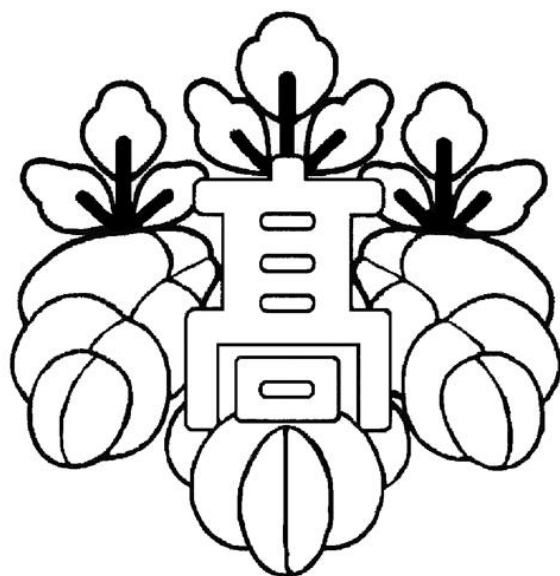


令和元年度
学校運営連絡協議会報告書



令和2年2月7日

東京都立田園調布高等学校

～ 目次 ～

令和元年度 学校運営連絡協議会報告書.....	1
1. 組織.....	1
2. 令和元年度学校運営連絡協議会の概要.....	1
3. 学校運営協議会による学校評価.....	1
4. アンケート集計結果.....	6
5. アンケート用紙.....	11

令和元年度 学校運営連絡協議会報告書

1 組織

(1) 東京都立田園調布高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成 総務部主任（事務局長） 総務部員（3名） 計4名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務部主任・生活指導部主任・進路指導部主任・総務部主任・2学年主任）、主任教諭（3学年主任・1学年主任） 計10名

(4) 協議委員の構成

近隣警察署職員、近隣消防署職員、学識経験者、PTA役員、近隣小学校長、近隣中学校長、近隣特別出張所長、近隣自治会長、近隣消防団長、本校同窓会会長 計11名

2 令和元年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1回～3回）の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回

日時：令和元年6月21日（金） 場所：本校小会議室、 出席者：内部委員10名、協議委員9名

内容：校長挨拶、協議委員委嘱、委員紹介、主旨説明、内部委員紹介、本校の現状と課題について説明、評価委員選出、意見交換、事務連絡

第2回

日時：令和元年10月18日（金） 場所：本校小会議室、 出席者：内部委員10名、協議委員8名

内容：校長挨拶、活動報告、学校評価アンケートへの検討、意見交換、事務連絡

第3回

日時：令和2年2月7日（金） 場所：本校小会議室

(2) 学校評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回

日時：令和元年10月18日（金） 場所：本校校長室 出席者：3名

内容：学校評価アンケート案について

第2回

日時：令和2年2月7日（金） 場所：本校相会議室 出席者：2名

内容：学校評価アンケート結果について

3 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点

- ・本校の学校経営計画に基づく教育活動に対する満足度、理解度および情報発信の結果について把握する。
- ・生徒、保護者、教員に対する設問項目から、三者の意識の相違を通して教育活動の課題を把握する。
- ・意見欄の設定により意見を具体的に把握する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

① 実施時期 （12月下旬）

生徒全員：回収数 683名／699名 （回収率 98%）

保護者：回収数 289名／699名 （回収率 41%）

教員：回収数 45名／45名 （回収率 100%）

② 評価項目

学校経営計画の実現に向けた取り組みが明確になるように質問内容を精選した。また、本年度から学校図書館に関する項目を調査した。アンケート項目は生徒・保護者・教員について共通とし、20項目を設定し差異等を明確にさせ、取り組むべき課題を明らかにした。20項目については、学習指導4項目、進路指導3項目、生

活指導 7 項目、更に施設・設備及び情報公開について 5 項目とし、最後に満足度について 1 項目とした。さらに、できる限り質問の主旨が伝わるよう文言等を検討した。また、選択肢については、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「思わない」の 4 項目である。肯定的な意見は「そう思う」「ややそう思う」の合わせた数とした。

(3) 評価結果の概要

① 生徒・保護者・教員の比較

設問順に生徒・保護者・教員の回答を比較する。

<学習指導>

設問 1. 学校は、生徒の進路希望実現に必要な学力を育むレベルの授業を行っている。

生徒の 80%、保護者の 77%、教員の 96% が肯定的評価をした。

設問 2. 学校は、生徒が授業内容を十分に理解するよう指導している。

生徒の 77%、保護者の 68%、教員の 100% が肯定的評価をした。

設問 3. 学校は、生徒の学力を定着・向上させるため、指導方法や小テスト自宅学習課題、週末課題等を工夫している。

生徒の 79%、保護者の 78%、教員の 91% が肯定的評価をした。

設問 4. 学校は、スタディキャンプや土曜日の講習、夏季講習の充実に努めている。

生徒の 85%、保護者の 81%、教員の 93% が肯定的評価をした。

<進路指導>

設問 5. 学校は、進路説明会の実施等を通して、生徒が自分の進路について主体的に考えられるよう指導している。

生徒の 82%、保護者の 86%、教員の 93% が肯定的評価をした。

設問 6. 学校は、大学説明会や大学研究室訪問の実施、進路指導部により、進路希望実現のための行程表の提示等、進路情報の提供に努めている。

生徒の 89%、保護者の 87%、教員の 96% が肯定的評価をした。

設問 7. 学校は、模擬試験や進路相談の実施、自習室の設置、大学生によるチューターの配置、自学自習時間の設定等、生徒の学力向上、進路希望実現を支援している。

生徒の 88%、保護者の 77%、教員の 87% が肯定的評価をした。

<生活指導>

設問 8. 生徒は、本校の生活信条「誠実・敬愛・自主・自律」を実践している。

生徒の 71%、保護者の 77%、教員 67% が肯定的評価をした。

設問 9. 学校は、体罰・暴言のない教育活動を行っている。

生徒の 90%、保護者の 93%、教員の 98% が肯定的評価をした。

設問 10. 学校は、年間 3 回の生徒アンケート実施等を通して、いじめの早期発見・未然防止に取り組んでいる。

生徒の 88%、保護者の 90%、教員の 96% が肯定的評価をした。

設問 11. 学校行事（体育祭、ぼろにあ祭、合唱祭）は充実している。

生徒の 76%、保護者の 87%、教員の 87% が肯定的評価をした。

設問 12. 部活動は充実している。

生徒の 75%、保護者の 72%、教員の 62% が肯定的評価をした。

設問 13. 教員や養護教諭、スクールカウンセラーによる悩み相談等、学校の相談機能は充実している。

生徒の 87%、保護者の 81%、教員の 98% が肯定的評価をした。

設問 14. 学校は、宿泊防災訓練や避難訓練、普通救命講習の実施を通して、非常災害時の対応について指導している。

生徒の 89%、保護者の 91%、教員の 93% が肯定的評価をした。

<教育環境、校内美化等>

設問 15. 学校の施設・設備は充実している。

生徒の32%、保護者の28%、教員の13%が肯定的評価をした。

設問 16. 生徒は、校内美化に努めている。

生徒の40%、保護者の57%、教員の47%が肯定的評価をした。

設問 17. 学校は計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図り、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を推進している。

生徒の72%、保護者の68%、教員の20%が肯定的評価をした。

設問 18. 学校図書館（図書室）の蔵書・設備は充実している。

生徒の89%、保護者は74%、教員の82%が肯定的評価をした。

<情報公開>

設問 19. 学校は、ホームページや授業公開週間を通して、教育活動の様子を保護者や地域に積極的に公開している。

生徒の82%、保護者は74%、教員の87%が肯定的評価をした。

<学校満足度>

設問 20. 生徒は、本校に入学して満足している。

生徒の76%、保護者の85%、教員の93%が肯定的評価をした。

②昨年度との比較

<学習指導>

設問 1 学校は、生徒の進路希望実現に必要な学力を育むレベルの授業を行っている。

肯定的な意見は、生徒は2ポイント、保護者では2ポイント、教員は2ポイント減少した。

設問 2 学校は、生徒が授業内容を十分に理解するよう指導している。

肯定的な意見は、生徒は1ポイント、保護者は3ポイント減少した。教員は2ポイント増加した。

設問 3 学校は、生徒の学力を定着・向上させるため、指導方法や小テスト自宅学習課題、週末課題等を工夫している。

肯定的な意見は、生徒は3ポイント、保護者は3ポイント、教員は5ポイント減少した。

設問 4 学校は、スタディキャンプや土曜日の講習、夏季講習の充実に努めている。

肯定的な意見は、教員は1ポイント減少したが、生徒と保護者は昨年と同程度である。

<進路指導>

設問 5 学校は、進路説明会の実施等を通して、生徒が自分の進路について主体的に考えられるよう指導している。

肯定的な意見は、生徒は4ポイント、教員は3ポイント減少した。保護者は昨年と同程度である。

設問 6 学校は、大学説明会や大学研究室訪問の実施、進路指導部だより、進路希望現のための行程表の提示等、進路情報の提供に努めている。

肯定的な意見は、生徒は1ポイント、保護者は2ポイント、教員は4ポイント減少した。

設問 7 学校は、模擬試験や進路相談の実施、自習室の設置、大学生によるチューターの配置、自学自習時間の設定等、生徒の学力向上、進路希望実現を支援している。

肯定的な意見は、生徒は1ポイント、保護者は8ポイント、教員は4ポイント減少した。

<生活指導>

設問 8 あなたは、学校の生活信条「誠実・敬愛・自主・自律」を意識して行動している。

肯定的な意見は、生徒は2ポイント、保護者は4ポイント、教員は3ポイント増加した。

設問 9 学校は、体罰や暴言のない教育をしっかりと実現している。

肯定的な意見は、生徒は5ポイント、教員は25ポイント増加した。保護者は昨年と同程度である。

設問 10 学校は、年間3回の生徒アンケート実施等を通して、いじめの早期発見・未然防止に取り組んでいる。

肯定的な意見は、保護者は3ポイント増加、教員は2ポイント減少した。生徒は昨年と同程度である。

設問 11 学校行事（体育祭、ぼろにあ祭、合唱祭など）は、充実している。

肯定的な意見は、生徒は2ポイント、保護者は1ポイント、教員は2ポイント増加した。

設問 12 学校の部活動は、充実している。

肯定的な意見は、生徒は2ポイント、保護者は4ポイント増加した。教員は7ポイント減少した。

設問 13 教員や養護教諭、スクールカウンセラーによる悩み相談等、学校の相談機能は充実している。

肯定的な意見は、教員は3ポイント増加、保護者は2ポイント減少した。生徒は昨年と同程度である。

設問 14 学校は、宿泊防災訓練や避難訓練、普通救命講習の実施を通して、非常災害時の対応について指導している。

肯定的な意見は、教員は4ポイント増加、生徒は1ポイント、保護者は4ポイント減少した。

<教育環境、校内美化等>

設問 15 学校の施設・設備は充実している。

肯定的な意見は、生徒は10ポイント、保護者は10ポイント、教員は13ポイント減少した。

設問 16 生徒は、校内美化に努めている。

肯定的な意見は、生徒は8ポイント、保護者は4ポイント、教員は3ポイント減少した。

設問 17 学校は計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図り、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を推進している。

肯定的な意見は、生徒は3ポイント、保護者は1ポイント、教員は2ポイント減少した。

設問 18 学校図書館（図書室）の蔵書・設備は充実している。

本年度新たに質問した項目である。

<情報公開>

設問 19 学校はホームページや授業公開週間などを通して、教育活動の様子を保護者や地域に積極的に公開している。

肯定的な意見は、生徒は1ポイント、保護者は14ポイント、教員は4ポイント減少した。

<学校満足度>

設問 20 学校に入学して満足している。

肯定的な意見は、教員は8ポイント増加、生徒は3ポイント、保護者は1ポイント減少した。

(4) 評価結果の分析・考察

① 学習指導について

本校は東京都教育委員会から進学指導研究校に指定され、9割以上の生徒が進学を希望する4年制大学入学に必要な学力や、高大接続改革で求められる知識・技能及び思考力、判断力、表現力を育む授業を推進している。

学習指導については、教員側と生徒側の意識に大きな差がみられる。ほぼすべての教員が授業を工夫し、学力向上に努めているのに対して、それが生徒に十分に伝わっていないことが分かる。教員は、わかる授業や学力の向上を実感できる授業を推進するために、生徒の学習状況を十分に捉え、指導方法を工夫するなど授業力向上を図る必要がある。自由意見では「課題が多すぎて自主学習ができない」「課題が多くそれを終わらせることに時間がかかり、やりたいことができない」といった意見も寄せられている。生徒にとってやる気・効率ともに充実した自主学習となるよう、教科間での連携による課題量の見直しが必要と考えられる。一方、生徒自身も授業や週末課題等への取組状況、学力テストに臨む態度等に対する自己評価を行う必要がある。宿題によって学習習慣が形成される生徒が多いため、教科が工夫をしながら、自学自習を習慣づける取り組みが求められている。授業そのものは概ね静かであるが、板書されたことを書き写すだけの受け身の姿勢の生徒もいる。また、一部授業に集中できない生徒もいる。生徒の主体的な姿勢や自学自習への取組は今後、大きく期待されることである。教員と生徒が授業の目標設定に対する共通理解を図り、ともによりよい授業を創り上げていくことが今後さらに重要となる。

本校の場合は、各科目とも学力について多様化がみられ、習熟の程度が異なる。アドバンストクラスと他クラスでは、カリキュラムは同様であるが、学習の目標設定、難易度、進度の設定が異なる場合が多い。また、

生徒には教科により得手、不得手があり、バランスの取れた学力形成が必要である。

授業公開については、授業公開週間の実施をより周知して、より多くの保護者や地域の人が参観できるような工夫を続けたい。

②進路指導について

8割以上の生徒が、主体的に進路について考えることができるよう指導されていると答えている。キャリアガイダンスや面談週間をさらに充実させ、進路意識の向上につとめ、今後も生徒のニーズに沿った進路情報の提供の仕方をより工夫していくことが必要である。また、教員間では情報共有をさらに深め、個に応じた指導を深めたい。

それとともに、生徒自身が主体的な進路情報収集を行う姿勢を養うことも重要であり、その両面から進路指導について考えていくべきである。第1学年では、早い時期から進路情報に触れてほしいと願い、専用の進路コーナーや廊下の掲示を積極的に行った。1、2学年共に、「学年便り」でも進路情報に常に触れている。また、模試に関しても、事前指導や事後指導に力を入れている。

進路指導に関しては、本校では「田高進路プロジェクト」を中心に充実した進路指導を進めており、進学実績等から保護者・地域においても近年評価されていることが数値に表れている。今後も生徒・保護者への進路情報の提供についてはさらに検討していく必要がある。生徒・保護者の要望を十分把握し、分掌と学年が連携をとり具体的な資料提供を行っていく必要がある。

③生活指導について

設問9「学校は、体罰・暴言のない教育活動を行っている」について、肯定的な回答をした教員は98%であり、肯定的な回答は25ポイント増加した。引き続き体罰のない教育活動を行いたい。

設問14「災害時事故発生時の対応の指導」については、年4回実施する防災訓練・避難訓練、年1回1学年の生徒を対象に実施する宿泊防災訓練において生徒が体験的に防災を意識することができる「起震車体験」や「消火訓練」「煙ハウス体験」など、地域と共に学ぶ防災教育の充実が見られた。さらに工夫をしたい。

④教室環境・校内美化等について

設問15「施設設備」では生徒の68%が否定的な回答であり、昨年度と比べ否定的な回答が10ポイント増加した。自由意見欄では、施設の改修等についての要望があった。特にトイレの状態に関する切望した意見が多数見られ、保護者から「トイレをはじめ施設が古すぎます。東京都、助成してほしいですね。女子トイレは和式がメインなのには驚きました。」という意見もあった。学習に集中できる環境づくりとしての基礎的環境整備の観点から、また、月経時に洋式が必要になる局面があるという観点からも、トイレの修繕が望まれている。校舎に関しては東京都教育委員会の方針に則って設備整備が行われているが、今後も保護者、生徒の理解を得ていく必要がある。ほかに自由意見では保護者から「校内が少し暗い様に思います」、「冷暖房の温度設定ができないのか夏も冬も寒いと言っています」という意見があった。

施設設備に関連して、設問16「校内美化」では生徒、保護者、教員とも肯定的な意見が減少しており、今ある施設をよりよく使用していくという意識の向上も求められる。

設問17の「学校は計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図り、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を推進している」については、生徒や保護者からは自由意見で「よくわからない」という意見が多くあり、現状への理解を得ていく必要がある。肯定的な回答は、生徒は72%、保護者は68%であるのに対し、教員は20%であり、学校と家庭間で大きな乖離があることが認められる。日々のバランスが改善され、教員が日々研鑽に励めるようになり、生徒への授業と教育の質向上へとつながるような展開が期待される。

⑤情報公開について

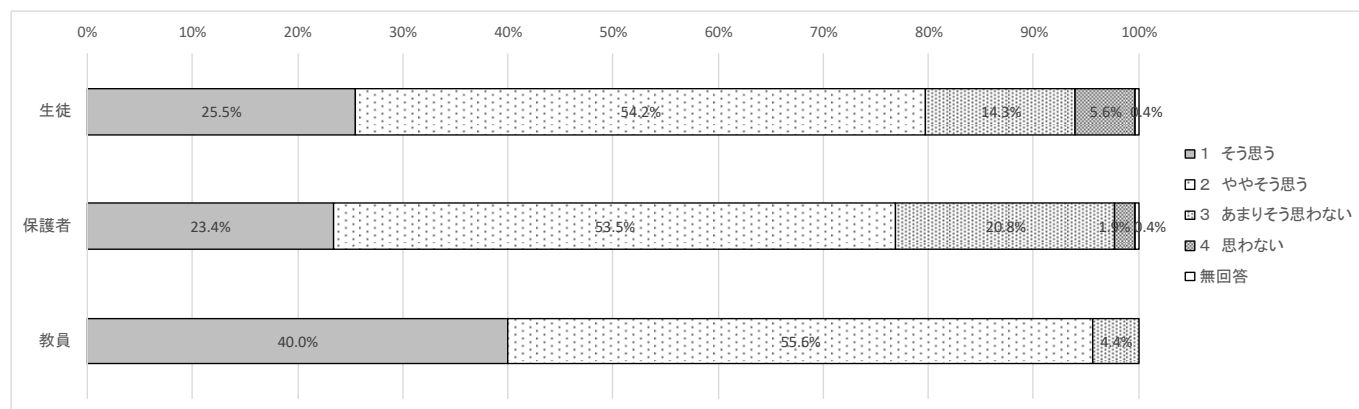
昨年度と比較して保護者の肯定的意見が14ポイント減少した。ホームページの更新回数増加や、各学年「学年便り」の定期的な発行を通して、保護者等に確実に情報が届くように工夫したい。

⑥学校満足度について

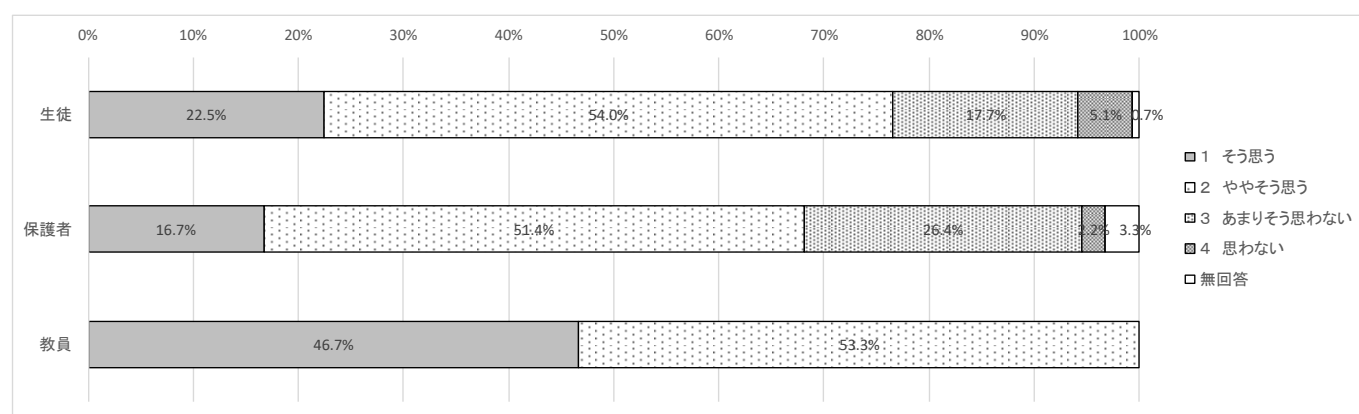
肯定的な意見は、生徒、保護者に大きな変化はなかったが、教員は8ポイント増加した。引き続き学校生活の充実に努めたい。

令和元年度 学校評価アンケート集計結果

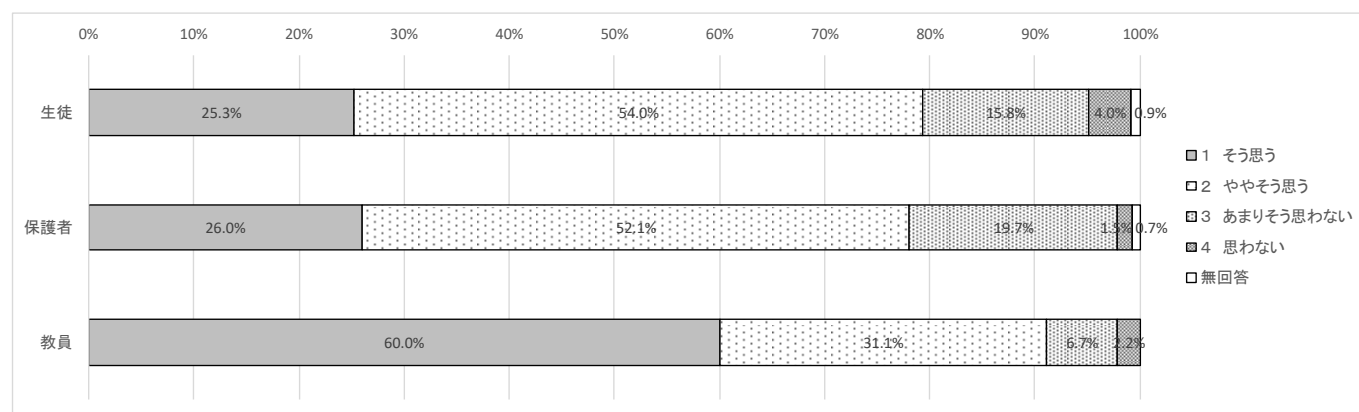
1. 学校は、生徒の進路希望実現に必要な学力を育むレベルの授業を行っている。



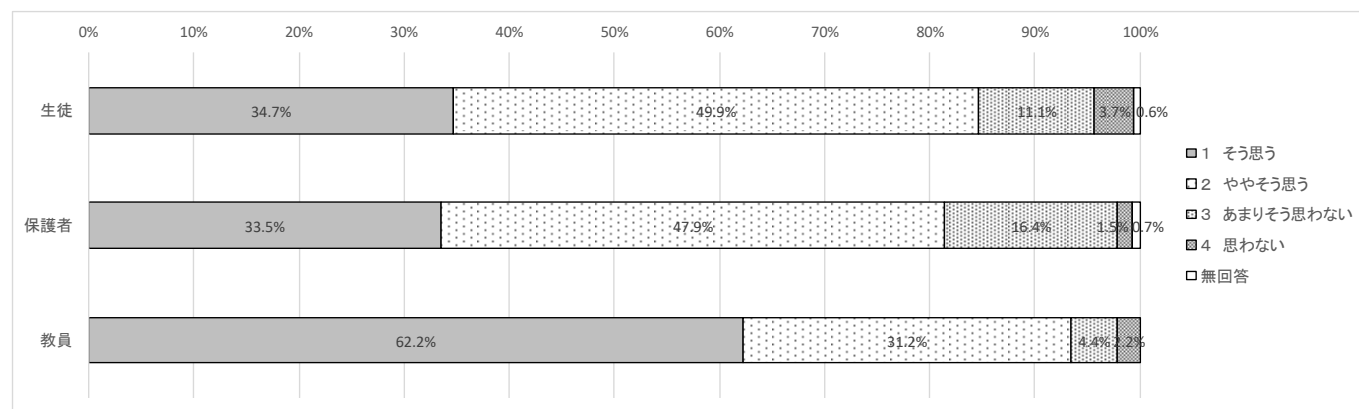
2. 学校は、生徒が授業内容を十分に理解するよう指導している。



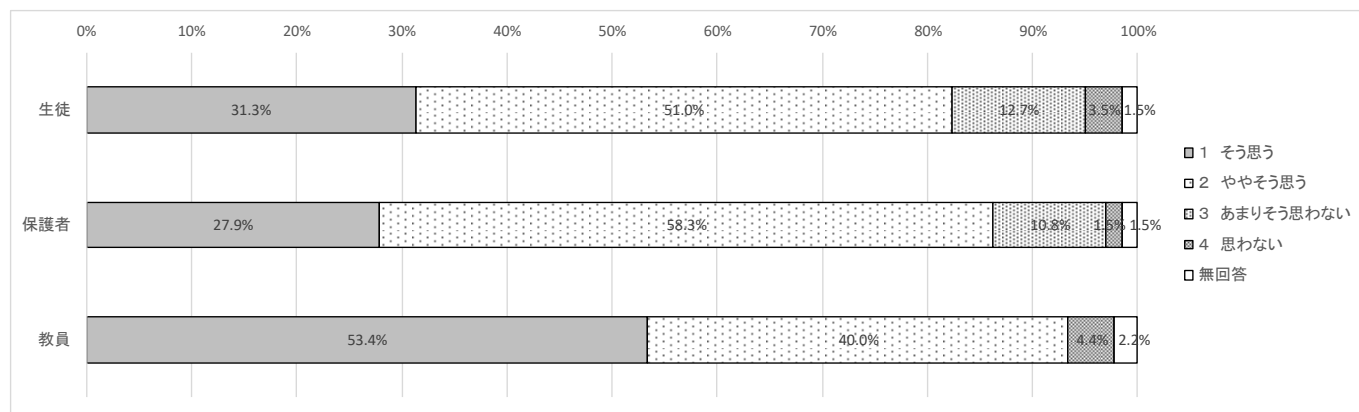
3. 学校は、生徒の学力を定着・向上させるため、指導方法や小テスト、自宅学習課題、週末課題等を工夫している。



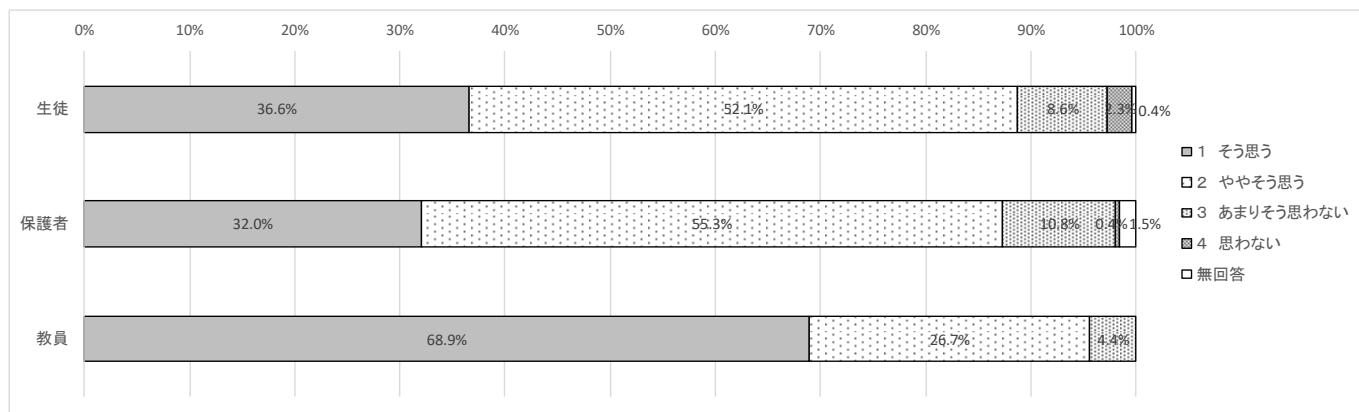
4. 学校は、スタディキャンプや土曜日の講習、夏季講習の充実に努めている。



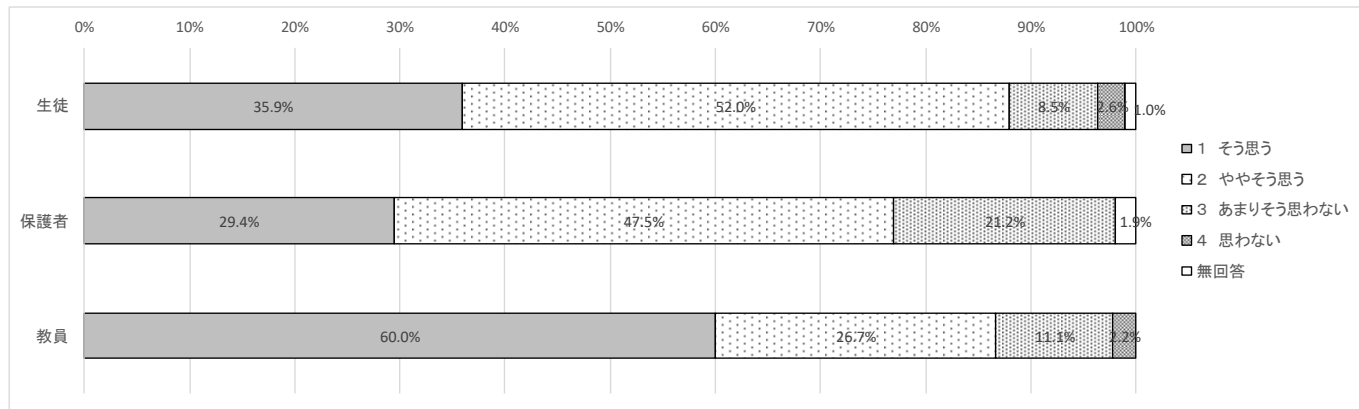
5. 学校は、進路説明会の実施等を通して、生徒が自分の進路について主体的に考えられるよう指導している。



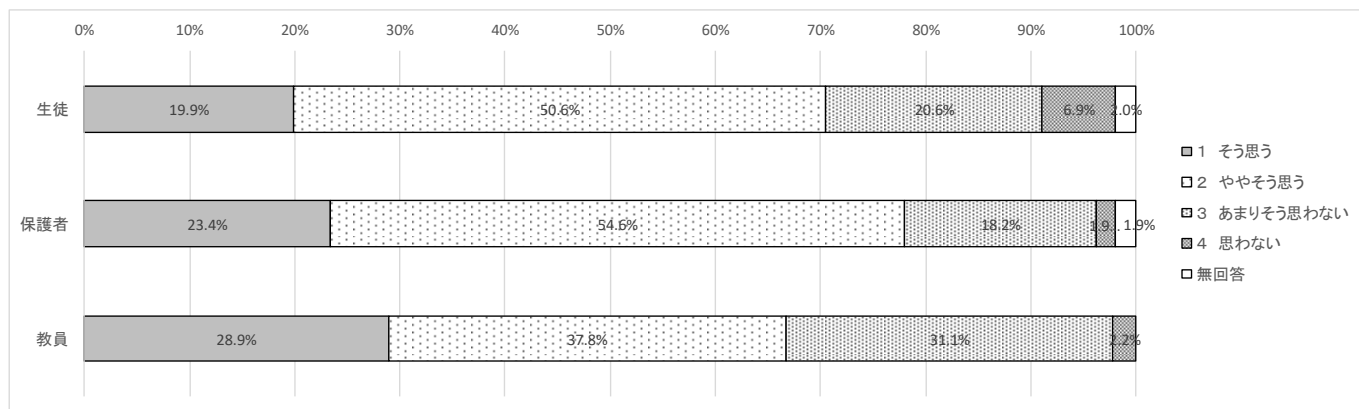
6. 学校は、大学説明会や大学研究室訪問の実施、進路指導部により、進路希望実現のための行程表の提示等、進路情報の提供に努めている。



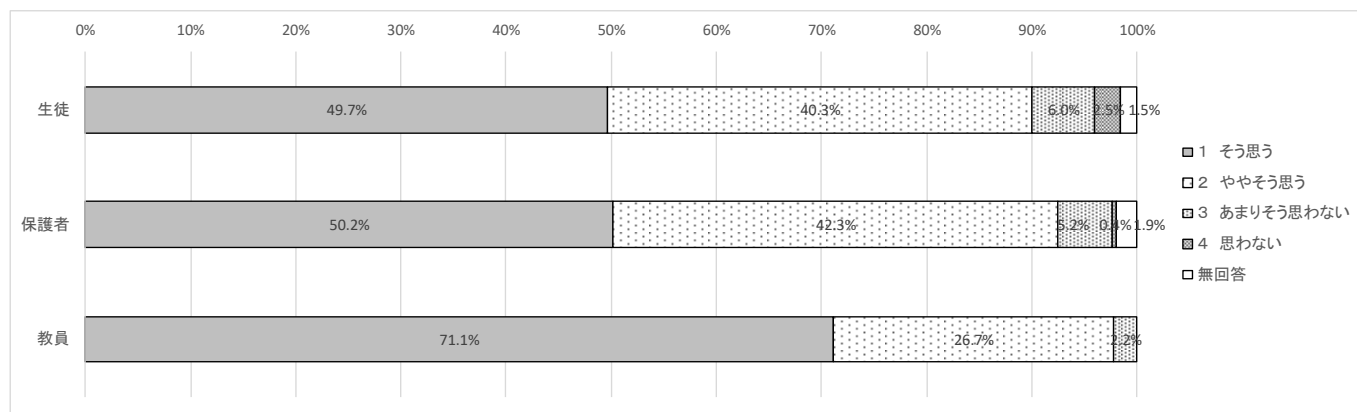
7. 学校は、模擬試験や進路相談の実施、自習室の設置、大学生によるチューターの配置、自学自習時間の設定等、生徒の学力向上、進路希望実現を支援している。



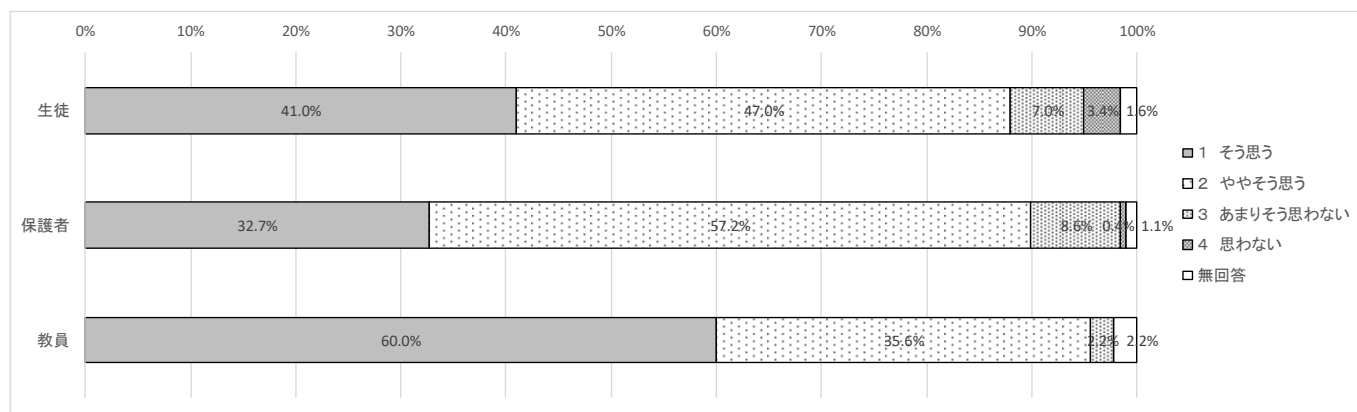
8. 生徒は、本校の生活信条「誠実・敬愛・自主・自律」を実践している。



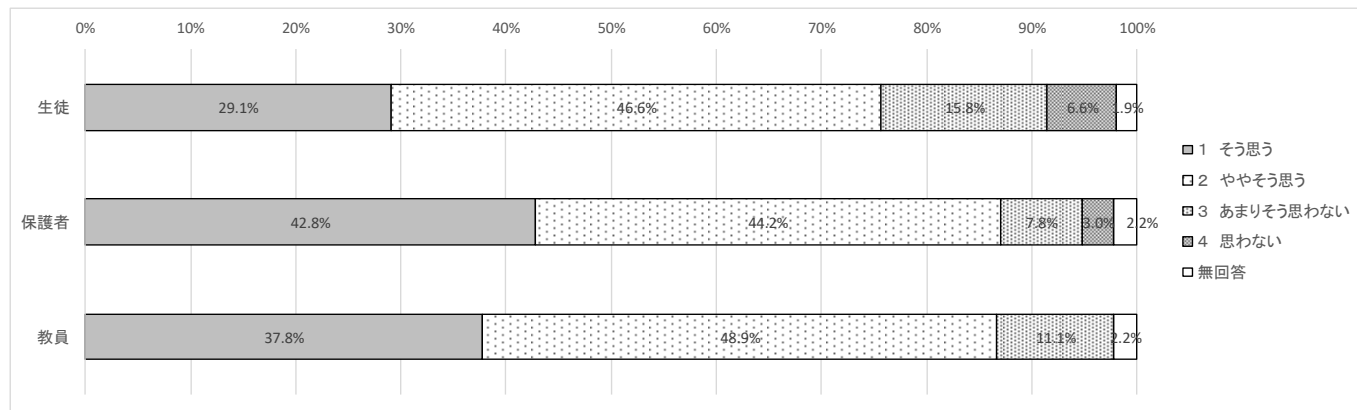
9. 学校は、体罰・暴言のない教育活動を行っている。



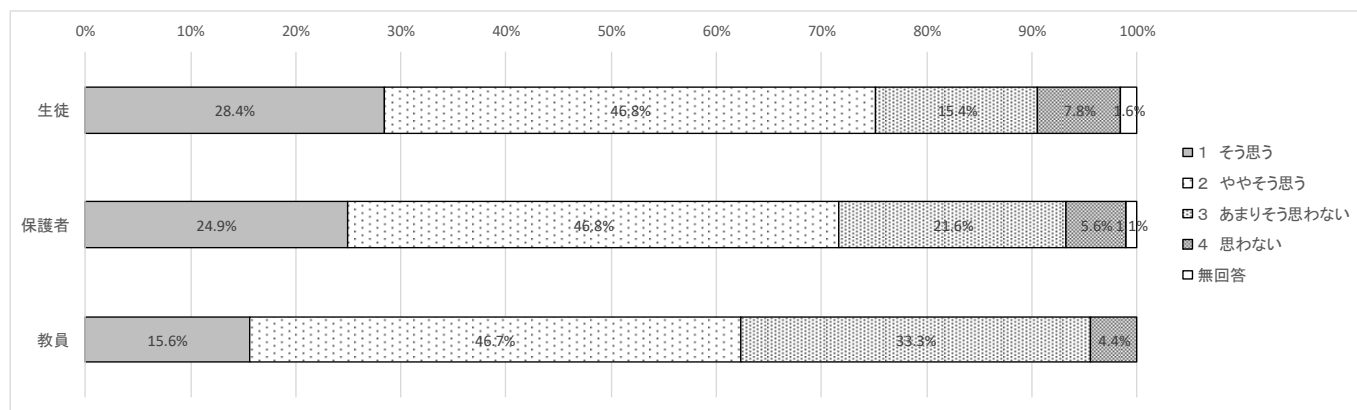
10. 学校は、年間3回の生徒アンケート実施等を通して、いじめの早期発見・未然防止に取り組んでいる。



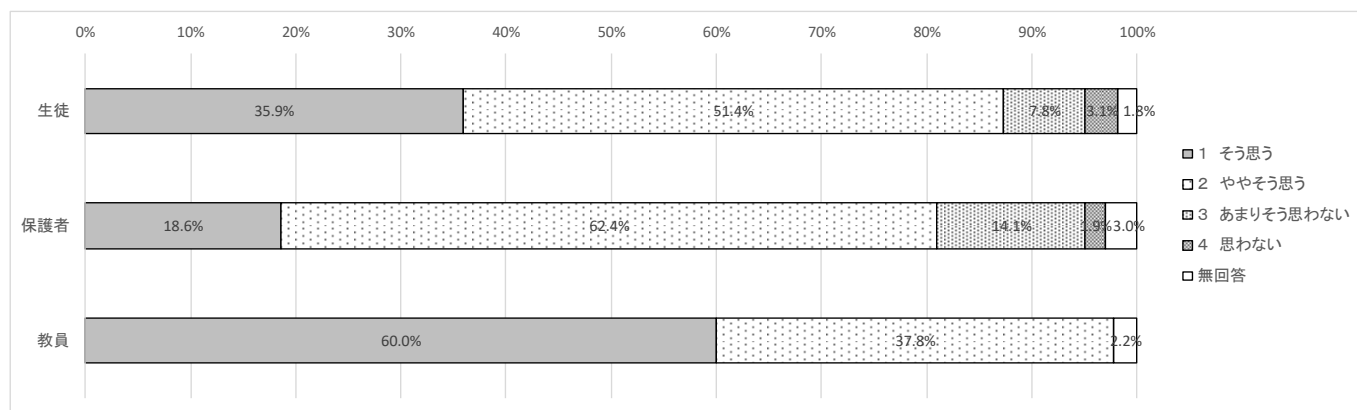
11. 学校行事(体育祭、ぼろにあ祭、合唱祭)は充実している。



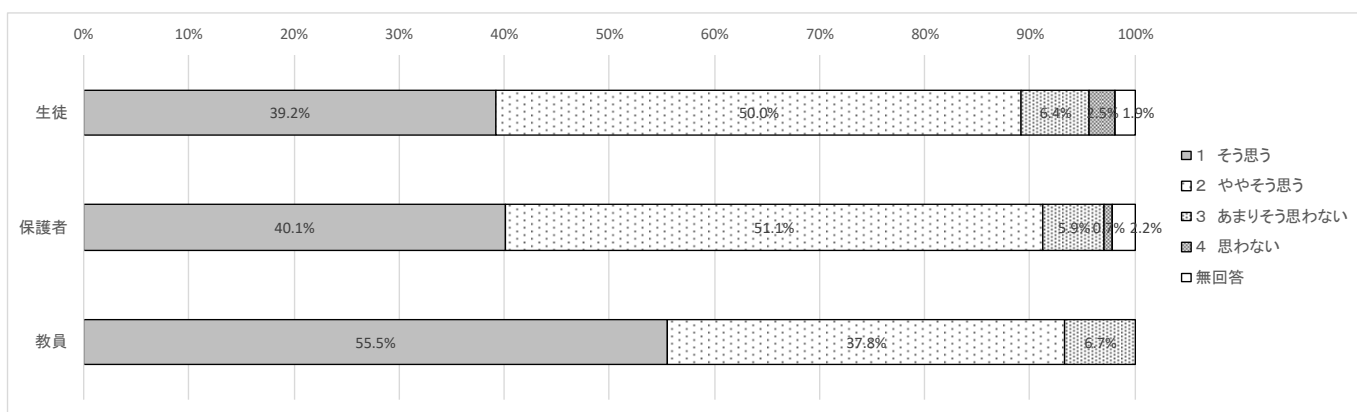
12. 部活動は充実している。



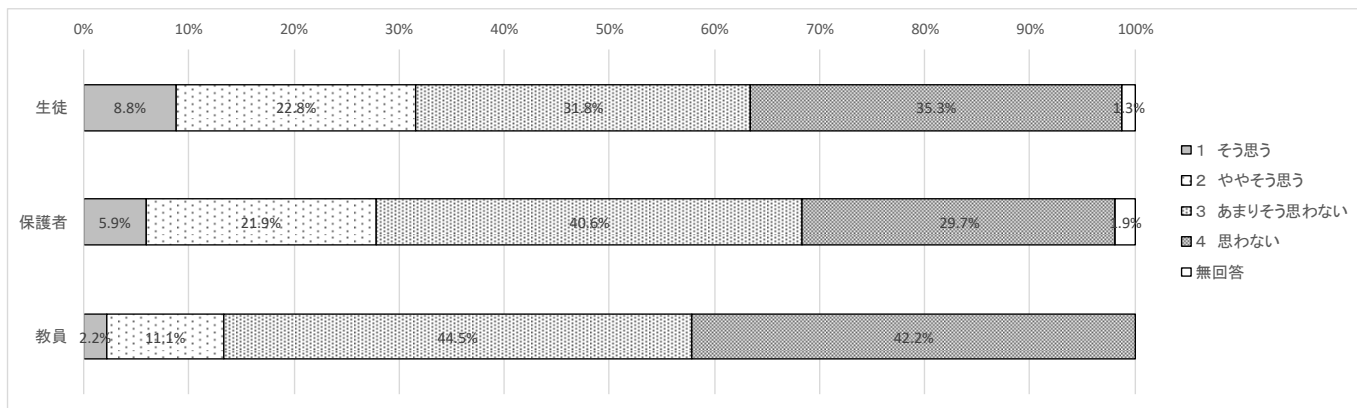
13. 教員や養護教諭、スクールカウンセラーによる悩み相談等、学校の相談機能は充実している。



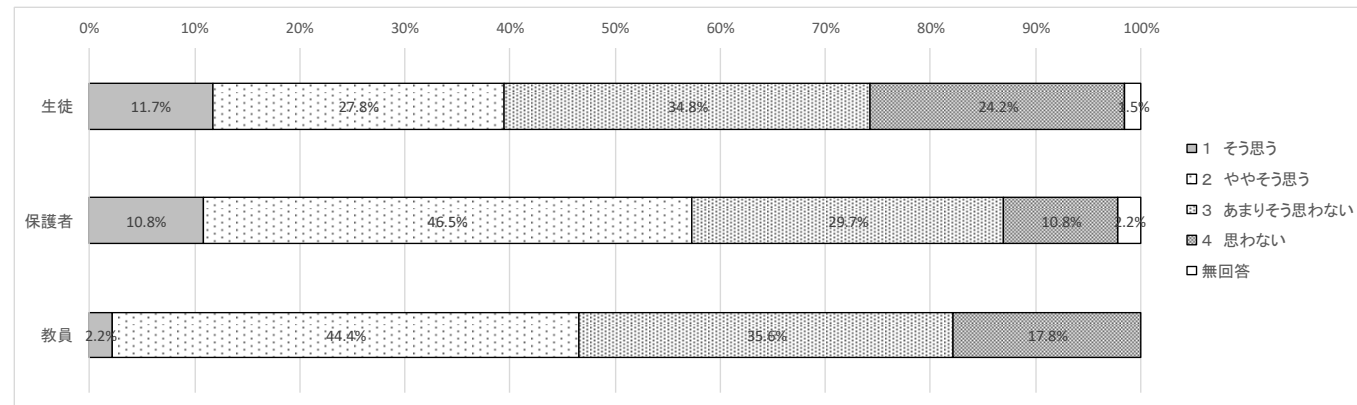
14. 学校は、宿泊防災訓練や避難訓練、普通救命講習の実施を通して、非常災害時の対応について指導している。



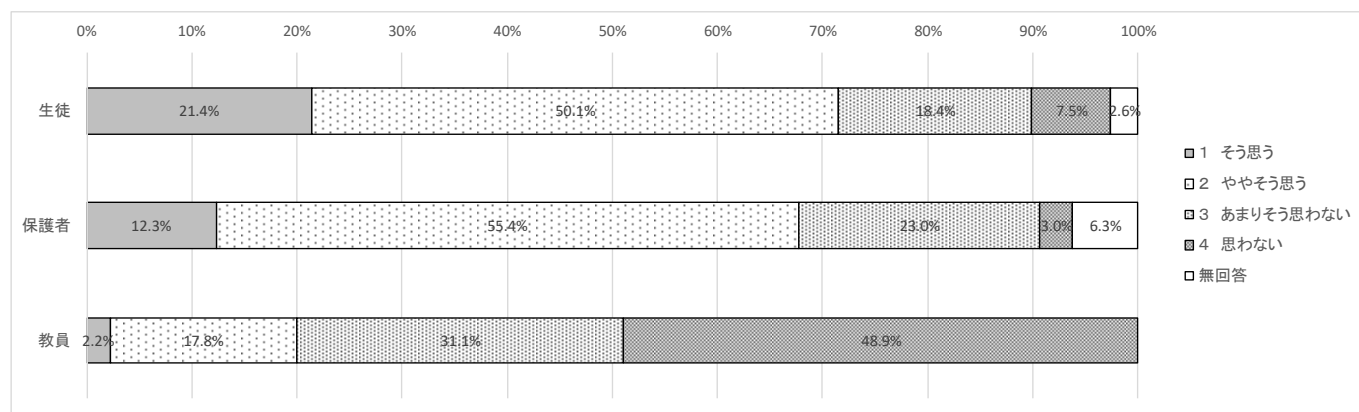
15. 学校の施設・設備は充実している。



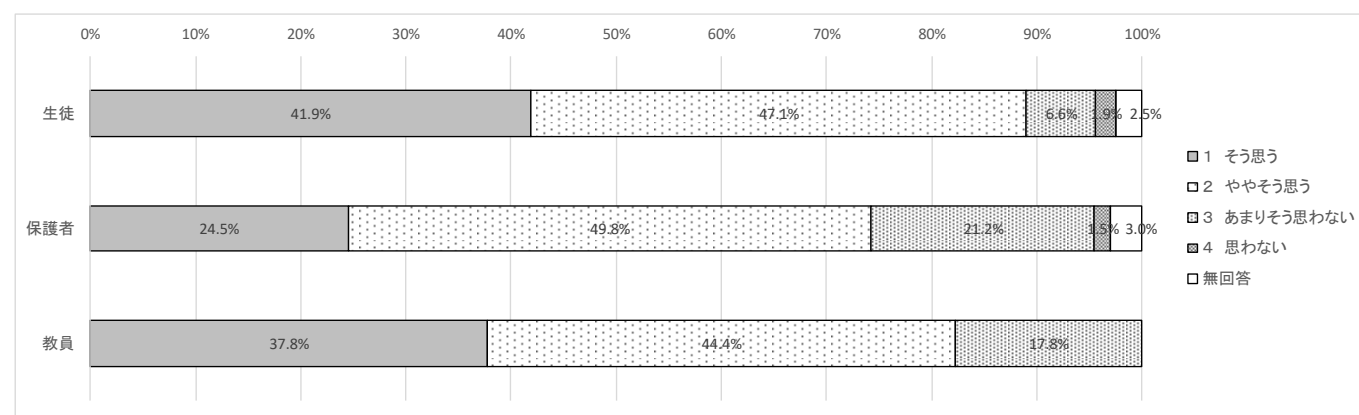
16. 生徒は、校内美化に努めている。



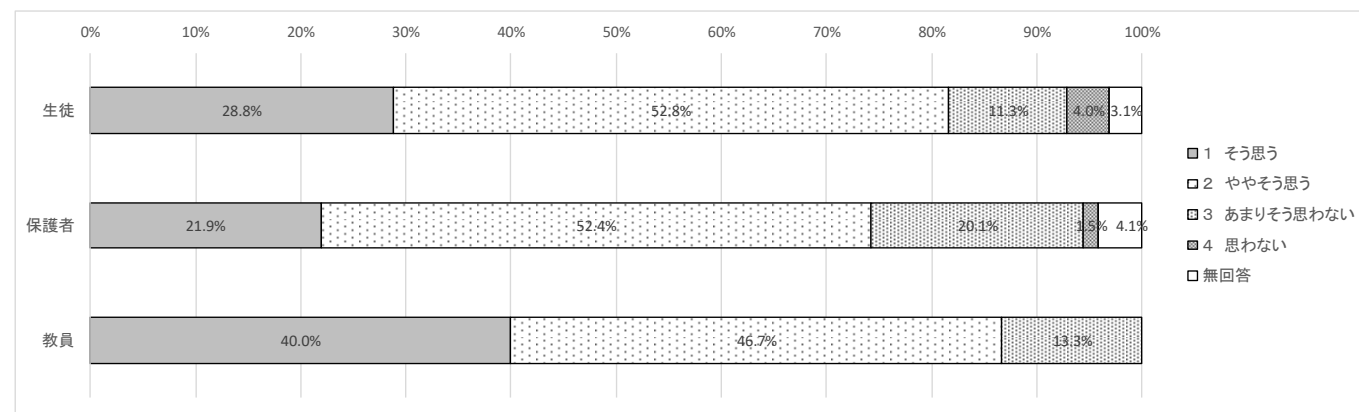
17. 学校は計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図り、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を推進している。



18. 学校図書館(図書室)の蔵書・設備は充実している。



19. 学校は、ホームページや授業公開週間を通して、教育活動の様子を保護者や地域に積極的に公開している。



20. 生徒は、本校に入学して満足している。

